

登録コード	AS116500	開講年度	2026					
授業科目	大学発技術系ベンチャー実践論					担当教員	杉原 伸宏	
英文授業名	Practical theory of Tech Venture at Shinshu University					副担当		
単位数	2	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	全1、2年生	
講義室				授業形態	演習	備考		
信大コンピテンシー	該当							
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】		
	2026ASカリ、2025ASカリ、2024ASカリ、2023ASカリ							
	【研究科共通】人類、社会の平和的・持続的発展のために、研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観							
	【研究科共通】環境調和社会、知識基盤社会を多様に支える高度な専門知識と実践的技術力							
	【研究科共通】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力							
授業の概要	授業の概要 ・授業は「起業経験のあるゲスト講演」と「ビジネスプラン作成」から構成されます。 ・技術力や知財の権利化、原材料調達や輸送、生産性、広告・市場展開、人件費、リスク管理等を総合的に含めたビジネスプランについては、まずは主体的に作成する事を求めますが、起業家・ベンチャーファンド関係者などの最前線で活躍する方から直接アドバイスを実施する予定です。 ・授業の最終日においては、ピッチコンテストを実施し、起業家・ベンチャーファンド関係者からの講評等を実施する予定です。 ・本授業では、ビジネスアイデア等のディスカッション、プランの作成が含まれます。そのため、受講生がそれぞれ保有する研究領域・専門性に関連する課題意識やマーケット理解、それらを背景としたビジネスアイデアを持ち、意欲的に参加することを期待します。 ・本授業を受講する上での前提知識は求めませんが、講義への理解を深めるために、後述する参考書に事前に目を通しておくことが望ましいです。 ・本授業では、各自の技術や専門性、アイデアを事業化する経験を通じて、実社会での事業化や起業に繋げる実践的な考え方を習得することを目標としています。 ・なお、授業で取扱う研究内容は、既に公表されているもの、特許出願済みのものまたは研究室の了解が得られたもののものとします。 【授業の形式】 ・講義とオープンメンタリングなどのアクティブラーニングです。 ・所属する研究室の技術・専門性などを活用し、起業を行う場合の思考トレーニングを実社会の最前線で活躍する人材からの経験・知見等を通じて習得する事を目指します。							
Contents:								
授業計画	実施計画 集中講義 1 日目（5月13日 水曜）13：30－17：50 オンライン 1.オリエンテーション 2.自己紹介 3.座学勉強会 （スタートアップとは） 集中講義 2 日目（5月27日 水曜）13：30－17：50 オンライン4.座学勉強会 （起業経験トーク） 5.座学勉強会 （ピッチの仕方） 集中講義 3 日目（6月10日 水曜）13：30－17：50 オンライン 6.座学勉強会 （生成AI活用） 7.オープンメンタリング 8.自主学习 集中講義 4 日目（8月20日 木曜）13：30－17：50 オンライン 9.オープンメンタリング 10.自主学习 集中講義 5 日目（9月9日 水曜）13:30-17:50 ハイブリッド 11.最終発表 12.座学勉強会 （ゲスト：起業家トーク） < 補足事項 > ・8月に開催される集中講義4日目までにビジネスプランの原案を作成する事を求めます。 ・集中講義4日目では、ベンチャーファンド投資の最前線で活躍されるエンジェル投資家・起業家等から様々な観点から のアドバイス等を実施することで、ビジネスプランの原案をブラッシュアップさせることを目指します。 ・集中講義 1－4日目終了後、ビジネスプランについて積極的に議論を行い、ビジネスプランをブラッシュアップさせることを求めます。 ・最終発表で優秀なビジネスプランを作成した学生には、本授業の一部を委託しているNES株式会社が今後行う起業イベント・起業家ネットワークへの招待（東京開催を想定、交通費：NES負担）などを行う事を想定しています。 ・オンラインで開催します。							

成績評価の方法	授業に臨む姿勢及びビジネスプラン作成を重視する。
成績評価の基準	学外から高い評価を得られるレベルにあれば「秀:100-90点」、教員を感心させるレベルにあれば「優:89-80点」、十分なレベルにあれば「良:79-70点」、達成目標を満たせば「可:69-60点」、不十分であれば「不可:59点以下」とする。
事前事後学習の内容	参考書などに目を通すと良い。
履修上の注意	・メンタリングを行うため、履修登録に[10]名の人数制限を設定します ・授業以外にも、ピッチコンテストに向けてビジネスプラン等の個別メンタリングを受け、資料作成を行う事を求めます。
質問,相談への対応	・担当教員までメールで問い合わせる
学生へのメッセージ	
【教科書】	指定しない。
【参考書】	【テクニカル面】 ・「起業の科学」(田所雅之/日経BP社) ・「ビジネスロードテスト」(ジョンW・ムリンズ 秦孝昭ほか(訳)/日経BP社) ・「リーンスタートアップ」(エリック・リース 井口耕二(訳)/日経BP) ・「ビジョナリーカンパニー」(ジム・コリンズ 山岡洋一(訳)/日経BP) ・「起業のファイナンス」(磯崎哲也/日本実業出版社) 【マインド面】 ・「ハードシングス」(ベン・ホロウィッツ 小澤隆生ほか(訳)/日経BP社) ・「ゼロ・トゥ・ワン」(ピーター・ティール ブレイク・マスターズ 瀧本哲史ほか(訳)/NHK出版) ・「不格好経営」(南場智子/日本経済新聞社) ・「凡人企業」(小原聖誉/CCCメディアハウス)